

大阪での新しい医療福祉生協づくりに向けた 法人合併の目的と意義(案)



「生活協同組合ヘルスコープおおさか」
「医療生協かわち野生活協同組合」
「なにわ保健生活協同組合」
この3生協は、2023年春の法人合併をめざし3か年計画を立てて「変わってからの合併」をスローガンに準備を進めています。
「よどがわ保健生活協同組合」
「ほくせつ医療生活協同組合」
この2つの生協は、この法人合併への合流に向けた検討を行っています。

組合員、職員の皆さん
協同組合の未来に希望と確信を持ち、自ら参加したい、働きたいと思えるような新しい生協づくりに向けてあなたのご意見をお願いします。

発行元 法人合併推進事務局 TEL 070-5547-5907

〒538-0037 大阪市鶴見区鶴見 3-6-24

はじめに 私たちの未来について共に語り合しましょう

「法人合併を通して大阪にどんな保健・医療・福祉の協同組合をつくるのか」

「この合併は、何を目的とし、どんな意義があるのか」

「これからの事業と運動にどんな影響を及ぼすのか」

「やりがいがあるのか」など・・・組合員・職員が共に組合員として合併への期待や不安、反対意見も含め率直に議論を重ね意見を集約します。

こうした議論を重ね法人合併後の未来のありたい姿、組合員と職員が生協の未来に希望と確信を持ち、参加したい、働きたいと思えるような新しい生協づくりにつなげていきます。

私たちが合併でめざす目標は、「新しい病院を建てる」など誰もがわかりやすい姿形をしめしたものであるではありません。

この合併に掲げる目標は、事業と運動を継続発展させ、新型コロナウイルスの感染症が深刻な影響を及ぼす大阪、「少子高齢化」・「貧困」・「孤立」・「不健康都市」など様々な問題を抱える大阪を「健康で居心地のよい大阪のまち」につくりかえることです。

医療福祉生協は、助け合いの組織であり営利企業や行政では担えない、人と人との自主的な協同、支え合いを広げ、事業と運動を通じて地域の健康づくりやくらしや様々な困りごとなどの問題解決を可能にすることができる存在になるのではないのでしょうか。

私たちがめざす新しい医療福祉生協づくりとは

法人合併の目的は、健康で居心地のいい大阪のまちをつくるために、いまよりもさらにパワーアップして組合員・府民に貢献できるようにすることです。

そのために各事業圏域を単位に、医療福祉生協の役割をみんなで検討し、その役割が担える組織に進化・発展させる必要があります。

法人合併を検討する生協は、これまでの歴史を振り返り、弱点を克服し住民の願いに応える新しい医療福祉生協をつくる決意と構えでこの運動に取り組めます。



「新しい医療福祉生協づくり」に向けた 「ありたい姿」

1. 事業を継続発展させ、組合員の夢をかたちにする新規事業を可能にする健全な経営の確立
2. 組合員の要求に応える医師をはじめとする人材の確保と育成、働きがいがある職場づくり
3. であい、ふれあい、ささえあいの組合員運動が発展し生協組合員組織の拡大強化が進む
4. 大阪全体の医療福祉生協の事業と運動が継続され発展する。

居心地のよい大阪のまちづくりへの挑戦

1. 不健康都市大阪を合併で健康なまちにつくりかえます

1. 大阪の健康寿命は短い

- 健康寿命とは、心身ともに自立し、健康的に生活できる期間のことです
- 大阪の健康寿命は、全国平均より短く、府内市町村の中でも大坂市が最も短くなっています。
- 最も高い市と大坂市との差
男性4.9歳、女性3.3歳

2. 健康診断の受診率が低い

- 大阪府の特定健診とがん検診受診率は、全国最低レベルでその中でも大坂市はさらに低い
- 特に国保、生保、扶養家族、協会けんぽ等自営業や中小零細の健診受診率が低くなっています。
- 悪性新生物による死亡率は、全国と比べて高くなっています。

図表6：悪性新生物の年齢調整死亡率(75歳未満・人口10万人対)と都道府県順位(平成27年)

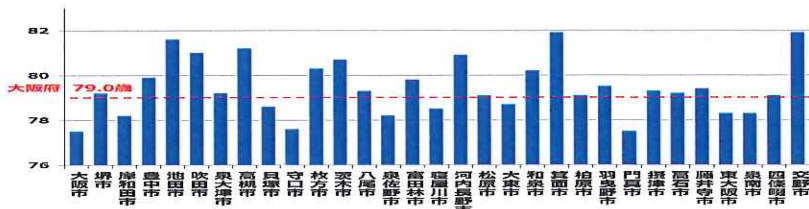
	男性	女性	計
全国	99.0	58.8	78.0
大阪	109.5 (43位)	62.0 (41位)	84.4

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」

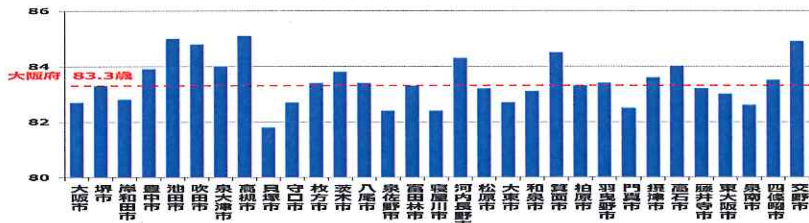
3. 未治療の人が多い

- 脳血管疾患・心疾患の発症につながる高血圧、脂質異常症や糖尿病は、それぞれ自覚症状がないため未治療者が多くいます。
- 「悪性新生物」「心疾患」「脳血管疾患」など、生活習慣と関わりの深い疾患が死因の5割を超えています。

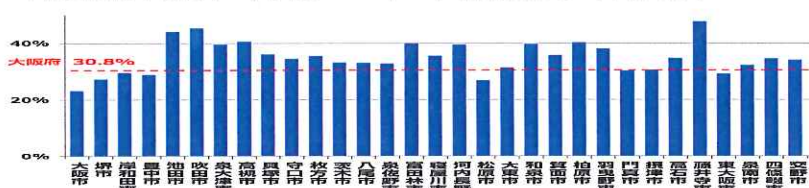
■大阪府民 健康寿命・男性(平成30年)



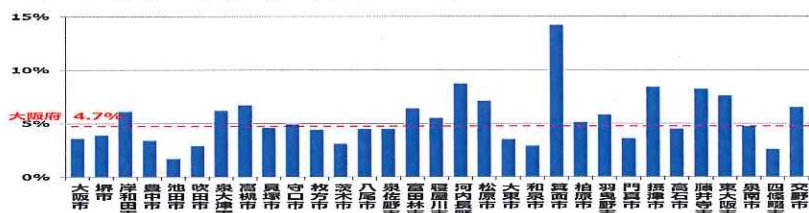
■大阪府民 健康寿命・女性(平成30年)



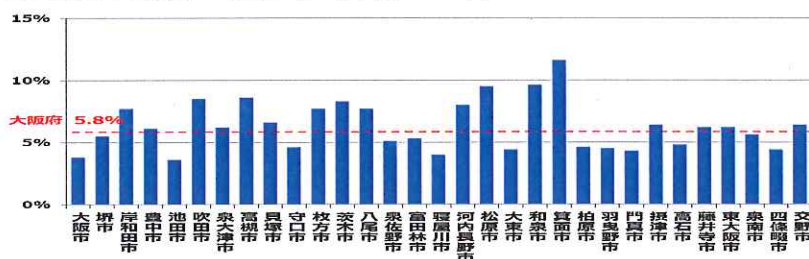
■特定健診実施率(平成30年・大阪府内市町村国保)



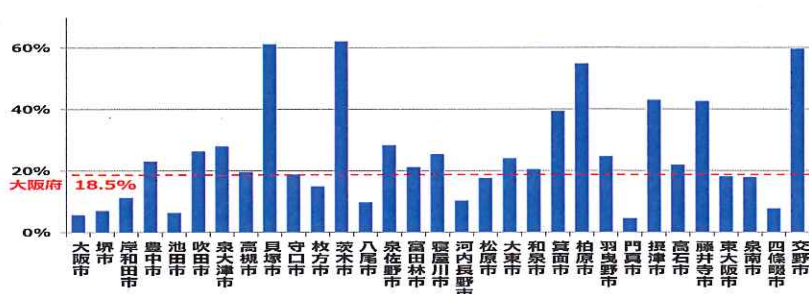
■胃がん健診の受診率(平成30年)



■大腸がん検診の受診率(平成30年)



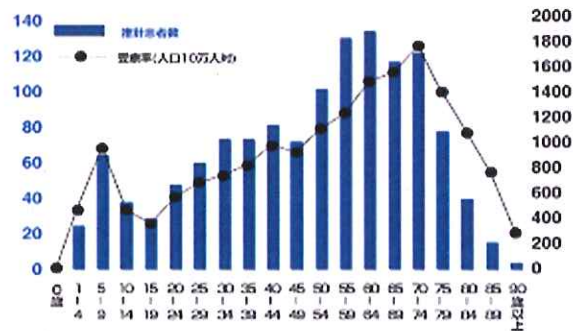
■特定保健指導の実施率(平成30年・大阪府内市町村国保)



1. 不健康都市大阪を合併で健康なまちにつくりかえます

歯科受診率 70歳以上激減

- 歯周病の治療が必要な者の割合は加齢とともに増えています。
- 70歳を超えると歯科の受診率が急激に低下しています。
- 食べることは生きること。単なる口腔ケアではなく口腔リハビリ、口腔マネジメントが必要です。人は口からダメになり、再生します。



健康づくり運動の新しい生協のありたい姿

- 合併で生協を大きくし、地区を単位に地域住民と医療や福祉の専門家が協同する組織で総力を挙げて健康なまちにつくりかえる運動に取り組みます。
- 組合員健診は、ドック健診を中心に低価格で内容も充実させ、組合員の健診受診紹介運動を大きく広げ、地区で住民の特定健診受診率〇%、がん検診〇%を目標に取り組みます。
- 健康診断から病気が発見された方には、①早期治療につながるよう働きかけを強化します。②慢性疾患を悪化させない生活習慣の改善、保健指導に取り組みます。③がんの早期発見に診療所と2つの病院が一体となって取り組みます。
- 健康づくりの運動は、支部を中心に、班会やサークルを増やし、健康教室を地域の隅々で開催し、健康チェック、健康診断受診運動を推進し地域を健康にします。
- 組合員の中から健康な生活習慣や健康チェックを学ぶ健康づくりサポーターを養成します。
- 健康な生活習慣を過ごすために「すこしお」運動や健康体操、ヨガ、認知症予防、卓球など楽しくて豊富なメニューと人が集まる場を増やします。
- 「何でもおいしく食べる」をサポートするお口の健康づくりを広げます。
- 大阪まるごと健康チャレンジに子どもからお年寄りまで、気軽に、楽しく〇千人を目標に取り組みます。

組合員運動が主体の健康なまちづくり

健康なまちづくり

超高齢化社会・一人暮らしの多い時代
つながりづくりで、健康寿命をのばす活動をすすめます



健康
チェック
活動



運動
プログラム・
健康班会



ヘルスコーチ活動
イデア・プロジェクト
ヘルス・プロジェクト

フレイル
予防



口の
健康づくり
後期高齢者の
歯科検診



すこしお
運動



低価格の
組合員
健康診断
がん検診など
オプション健診の
充実

みんなで楽しく健康づくり

居心地のよい大阪のまちづくりへの挑戦

2. 「自助」「自己責任」社会から

「助けあい」「協同」の地域包括ケアへ

1. コロナ禍で大阪の医療が逼迫・貧困、社会的弱者を協同で助け合いを

- 医療が逼迫し感染予防に重要な役割を担う保健所の弱体化など様々な問題が発生しています
- 外国人観光客の激減、飲食業など深刻なコロナ不況が進行し非正規や年金生活者など貧困層を直撃
- 必要な治療や介護サービスの中断、我慢する人も多く、病気の悪化や身体機能の低下や認知症の進行など社会的弱者が孤立し大きな困難が襲いかかっています。

大阪の死亡例は人口あたり東京の2.7倍

第3波(10月10日~1月5日)



死亡者の53%が医療・高齢者施設での感染

大変な時だからこそ法人合併で対応力を広げよう

- コロナ禍でも発熱者を断らずに外来対応できるように努力します。
- 健康や福祉、生活に関わる問題は、「自助」や「自己責任」では解決しません。こんな時代だからこそ人と人の協同で人が大切にされ、人情あふれる大阪につくりかえていく医療福祉生協の役割が大切です。
- オンライン班会や助け合い活動・お元気ですかテレフォンなどを広げます。

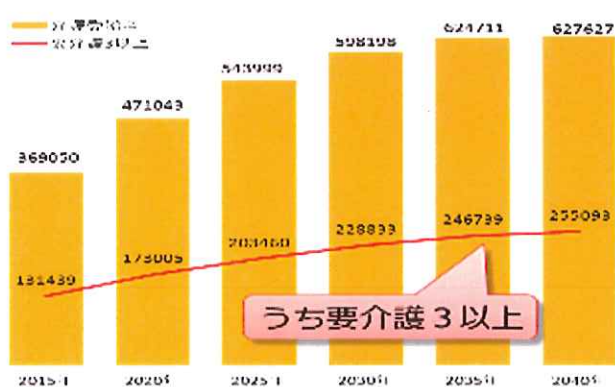
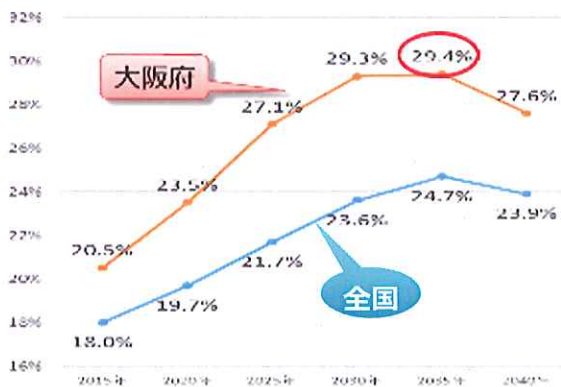
2. 困難を抱える人が多い大阪

- ご近所のつながりが希薄で、一人で困難を抱える人が多く、介護認定率が高く、訪問介護サービスの利用が多い。
- 85歳以上が急増し、半数以上が介護認定者、認知症が増加。頼れる身内もない、多くの基礎疾患を抱え、見守りの必要な人が増加します。
- 大阪は、全国で最も貧困化が進行、子どもの貧困率も高く、国保料や介護保険料滞納世帯が多く無保険者や手遅れ死亡事例、孤独死が多い。



【第1号被保険者における要介護認定率の将来推計】

【介護サービス受給者の将来推計】



地域包括ケアありたい姿
新しい生協の

- 医療や介護、生活支援など多岐にわたる対応が求められ医師、歯科医師、看護師、ケアマネ、セラピスト、介護職、ケースワーカーなど多職種がチームで連携し対応します
- 住民同士の見守りや助け合い、子ども食堂など食事会、たまり場活動などを多彩に広げます。
- 診療所は、在宅医療の拠点となって地域の困りごと、助け合い、住民同士の協同など地域包括ケアの拠点・地域包括ステーションの役割を果たします。
- 病院は、診療所と協力体制を更に強化し、精密検査の実施、専門外来の充実、在宅患者の急変時などの受け入れ、時間外休日深夜の対応を強化します。
- 歯科は、法人合併で5カ所になり、地域でのオーラルフレイル予防や口腔ケア、歯周病予防や病棟や介護事業所への歯科衛生士の派遣、歯科の在宅医療の展開を拡大します。
- 無料低額診療を拡大しお金の心配なくとも医療を提供します。
- 通院困難の組合員には無料送迎も実施しています
- 入院の差額ベットは徴収しません

総合力と連携で組合員と共につくる地域包括ケア

安いで頼れる まちづくり

「助けて」と言い合える
安いで居心地のいい
まちづくりを目指します

たまり場づくり
いっしょにいると楽しい!!
仲間と集える多世代型の
「たまり場づくり」を
すすめます

災害につよい まちづくり

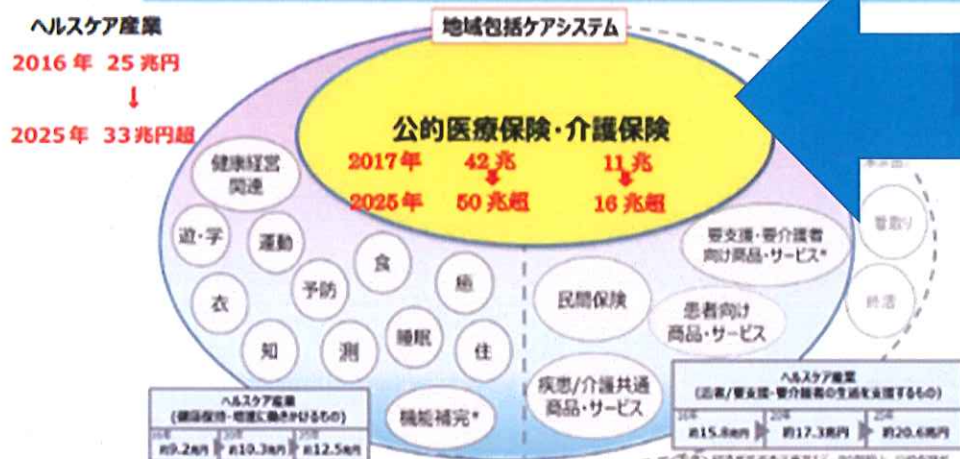
お元気でさが訪問
一人暮らしや認知症に
なっても安心してらせる
「お元気でさが訪問」を
すすめます

無低診
受診困難者の
医療の保障

助け合いの会で安心
誰かに頼れる、
「助けて」と言い合える
「助け合いの会」の
活動をすすめます

- 地区を単位に医科(入院)・歯科・介護・組合員運動を一体化し、行政・医療機関・介護事業所・町会などの連携を強化します。
- 最後まで住み慣れた自宅で自分らしくくらしたいとの願いを実現するために24時間365日の在宅医療と在宅介護と「いざ」という時の入院でサポートしていきます。
- 新規事業として、看護小規模多機能サービス・定期巡回サービス・東大阪生協病院への歯科診療所の建設、泊りの出来る施設 etc を検討し具体化を進めます。
- 感染予防の徹底、コンプライアンスの遵守など医療介護の質を高め満足度を高めていきます。

- ヘルスケア産業（公的保険を支える公的保険外サービスの産業群）の全体像を整理した上で、民間調査会社等が既に試算している各産業分野の市場規模を集計し、現状及び将来の市場規模を推計。2016年は約25兆円、2025年には約33兆円になると推計された。
- 今後、ヘルスケア産業政策の動向等を踏まえ、随時見直しを行っていく。



新しい生協は、医療・介護に必要な在宅生活を支える事業をすべて持っています。

地域には、組合員が住んでおりお互いの助け合い、困りごとの対応、健康づくりやくらしの相談などの協同が広がります



法人合併の目的・意義 その2

人づくり、事業、経営の継続発展

1. 医師をはじめとする人材の確保、育成を合併で強化します

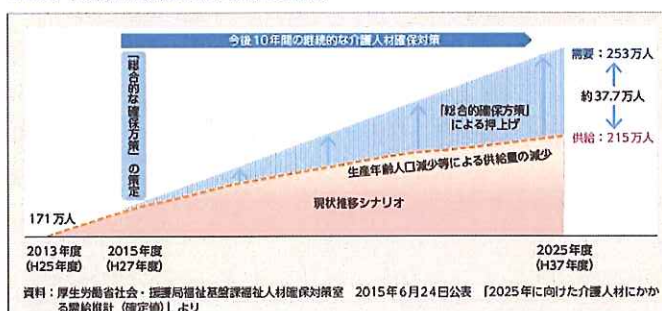
・超少子高齢化社会の到来で、医療・介護需要が大きくなる中、医師・看護師・介護職等の人材不足が大きな問題となっています。

・特に入院を担う病院の医師・看護師や、診療所の中心となる所長の確保は、最重点課題となっています。

・介護人材は2025年には約38万人が不足するとの見通しとなっています。

・厳しい情勢が続く中、民医連綱領や、いのちの章典の実践の実現に向けた、医療福祉生協や民医連の理念に共感する職員の育成が必要です。

◆2025年に向けた介護人材の需給推計結果



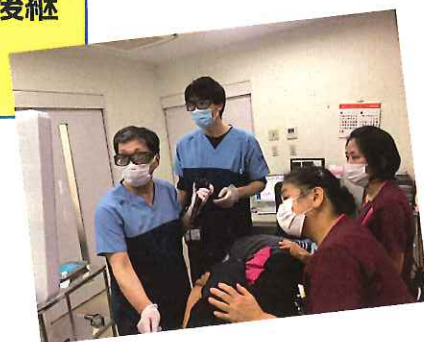
合併すると・・・？

①合併で大きくなった法人のスケールメリットを活かして、専任の担当者を配置などし、人材確保の強化ができるようになります。



②医師の集団化で研修環境が充実し、研修医が来る病院・診療所になることで、家庭医の養成など後継者対策を進めることができます。

③大きな集団の利点を活かした充実した研修ができるようになり、地域ごとや職種ごとに進んだ取り組みの共有や学びができるようになります。



④地域の医療・介護ニーズに合った、効率的で持続可能な職員配置を進めることができます。

2. 合併で足腰の強い経営基盤を確立させ

新規事業の展開を広げます

- 今年度の5生協の経営は、4-5月の非常事態宣言で健診停止や受診控え等で**第1四半期3億2千万円を超える赤字**となりました。
- 7-11月は、例年収益水準までの回復には至っていませんが支出の見直しとインフルエンザワクチンの需要増で**2億を超える黒字**で盛り返しています。
- しかし年度末に向けては、第3派の感染拡大、1月からの非常事態宣言で受診抑制、介護利用抑制が心配されます。
- 昨年比事業収益**△334(百万円)**で人件費**△81**の減少。人件費率は、今年**74.6%**、昨年72.8%で**1.8%**増加しています。

2020年度累計	事業収益					経常剰余	剰余率
	実績	予算	前年	予算比	前年比		
ヘルスコープ	4,389,752	4,320,016	4,558,044	101.6%	96.4%	-9,159	-0.2%
かわち野	3,524,287	3,787,191	3,656,160	93.1%	96.4%	-100,208	-2.8%
よどがわ	518,963	537,138	531,843	96.6%	97.6%	8,197	1.6%
なにわ	535,279	570,252	549,820	93.9%	97.4%	-9,758	-1.8%
ほくせつ	150,602	160,928	159,258	93.6%	94.6%	5,623	3.7%
5生協合計	9,118,883	9,375,525	9,452,925	97.3%	96.5%	-105,305	-1.2%
コープおおさか病院	1,996,821	1,987,061	2,071,169	100.5%	96.4%	-11,645	-0.6%
東大阪生協病院	1,634,407	1,743,762	1,701,242	93.7%	96.1%	-81,420	-5.0%
病院	3,631,228	3,730,823	3,772,411	97.3%	96.3%	-93,065	-2.6%
診療所	2,215,159	2,310,044	2,361,697	95.9%	93.8%	2,695	0.1%
歯科	430,068	418,079	461,612	102.9%	93.2%	-10,287	-2.4%
訪問看護	224,739	217,878	223,172	103.1%	100.7%	3,797	1.7%
訪問介護	438,268	447,999	442,761	97.8%	99.0%	32,044	7.3%
デイサービス	293,970	297,798	314,731	98.7%	93.4%	-7,184	-2.4%
デイケア	624,122	664,491	636,422	93.9%	98.1%	2,380	0.4%
居宅	419,082	421,868	417,000	99.3%	100.5%	-7,770	-1.9%
小規模多機能	159,962	162,060	153,991	98.7%	103.9%	-7,079	-4.4%
グループホーム	505,178	524,390	498,854	96.3%	101.3%	-25,167	-5.0%
その他	176,839	180,856	178,999	97.8%	98.8%	-18,525	-10.5%
介護合計	2,842,160	2,917,339	2,865,931	97.4%	99.2%	-27,504	-1.0%

20年11月累計 (単位百万円)	入院収益			外来収益			健診収益			介護収益			人件費			人件費率
	今年	昨年	率	今年	昨年	率	今年	昨年	率	今年	昨年	率	今年	昨年	率	
ヘルスコープ	1,377	1,408	97.8%	1,409	1,501	93.9%	270	315	85.7%	1,256	1,273	98.7%	3,279	3,425	95.7%	74.7%
かわち野	849	878	96.7%	1,184	1,226	96.6%	481	574	83.8%	924	921	100.3%	2,611	2,532	103.1%	74.1%
なにわ				123	134	92.1%	49	49	99.7%	356	357	99.7%	425	418	101.8%	79.4%
よどがわ				201	220	91.3%	28	31	89.2%	274	279	98.3%	380	387	98.2%	73.2%
ほくせつ				67	85	78.9%	23	25	91.2%	32	36	89.0%	109	124	87.8%	72.2%
合計	2,227	2,286	97.4%	2,985	3,165	94.3%	851	994	85.6%	2,842	2,866	99.2%	6,805	6,886	98.8%	74.6%

組合員と共にコロナ禍でも健診の必要性を呼びかけ受診者を増やします。かわち野の健診活動を全院所に広げます
 健診フォロー、中断対策を強化し必要な医療が継続できるように働きかけを強化します。
 在宅医療の提供体制、働きかけを強化し在宅件数を増加させます
 残業を減らし労働効率を高め、経営の力量を超えた賃金、労働条件を改善します。
 予算で立てた必要剰余を確保できるように対策を強化します。
 事業所独立会計、部門別管理のシステムを統一し効率的で厳格な経営システムを作ります。

足腰の強い経営基盤の確立に向けて

自主的な組合員運動の発展・組織拡大

たまり場をすべての活動の拠点に据え、楽しく充実した班会を開催

組合員が運営する「たまり場」は全部で45か所あります。
たまり場では、子ども食堂などの食事会やふれあい喫茶、囲碁、将棋、麻雀、手芸などのサークル活動など地域住民の出会い、ふれあい、支え合いの場になっています。

医療生協かわち野

たまり場・事業所マップ

地域に開かれた支部センター「たまり場」を設けており、また、地域の集会所を使い、たくさんの方が集まって様々な活動を行っています。
健康や医療・介護の学習会、食事会やふれあい喫茶、健康づくりや趣味を生かしたストレッチ体操、筋トレ、映画、絵手紙、折り紙、卓球、囲碁将棋、大橋学、ヨガ、河内百面体操など・・・お友達もたくさんできますよ。みなさんも参加しませんか？



地区別「くつろぎハウス」		予定表		12月3日～12月30日	
開催日		開催日		開催日	
12月3日	12月4日	12月5日	12月6日	12月7日	12月8日
12月9日	12月10日	12月11日	12月12日	12月13日	12月14日
12月15日	12月16日	12月17日	12月18日	12月19日	12月20日
12月21日	12月22日	12月23日	12月24日	12月25日	12月26日
12月27日	12月28日	12月29日	12月30日		



空室状況(無料)して頂上！

2つの病院、20カ所の診療所を中心にした地域には、152の支部があります。

約18万人の組合員は、支部に所属し毎月(隔月の生協あり)機関紙が組合員の手で配布されています。

支部には、1169班の班があり健康教室や健康チエツクなどに取り組んでいます。

支部は、月1回支部運営委員会が開催されています。

支部では、組合員の健康をまもるために出張健診、健診受診運動、お元気ですか訪問などに取り組んでいます。

医療生協かわち野の健診活動

出張健診を年 15～20 件おこなっています。これは、支部が主体となり、地域にある会館をかりうけ、周辺地域へのピラ等の宣伝活動をおこなっています。

東大阪市にある当法人 4 事業所の東大阪市 2019 年度のがん検診に占める割合は、肺がん検診 71.6%、胃がん検診 74.9%、大腸がん検診 67.6%、乳がん検診 46.8%、子宮がん検診 28.8%となっており、医療生協かわち野の健診活動が、市のがん検診受診率向上に大きく貢献しています。



合併で知名度・影響力を拡大し、加入希望者が増加する組織へ

- 組合員・出資金ふやし
生協運動・事業基盤の源であり理念への共感を広げる最も大事な課題、組合員と職員が日常的に継続して追及する課題。
組合員組織率を診療圏で5割めざします。
- 班会やサークル活動で組合員の運動参加をふやし、活動の担い手を一人一役で増やします。

①支部運営委員

②機関紙配布協力者

③健康づくりサポーター
健康チェック、体操

④くらしの相談活動
助け合いの活動会員

⑤班会 班長さん

⑥たまり場の世話役

- 班会、サークル活動を増やし組合員参加を広げます
楽しく・ふれあい・交流の場
- たまり場活動 各地区に1か所以上
たまり場活動交流会
- 自主的で楽しい支部活動、支部分割支部
- 多数の組合員が参加し自治・自立した支部をふやします

組合員現勢	組合員数 人数	出資金 単位千円
ヘルスコープ	71,068	1,641,284
かわち野	77,595	1,791,365
なにわ	14,398	268,540
よどがわ	22,461	307,905
ほくせつ	8,481	158,532
合計	194,003	4,167,626

2019年度末行政区別・組合員数及び組織率

市町村名		世帯数	組合員数	組織率
大 阪 市	中央区	65,921	3,330	5.1%
	北区	83,757	2,054	2.5%
	東淀川区	98,895	17,192	17.4%
	旭区	45,051	6,072	13.5%
	都島区	55,698	11,431	20.5%
	城東区	81,284	15,468	19.0%
	鶴見区	48,395	18,025	37.2%
	東成区	44,419	5,039	11.3%
	天王寺区	41,466	1,391	3.4%
	生野区	67,401	6,259	9.3%
	平野区	92,871	1,876	2.0%
	東住吉区	60,800	1,693	2.8%
小計		785,958	89,830	11.4%
東大阪市		231,215	51,237	22.2%
大東市		53,443	7,820	14.6%
八尾市		114,510	16,754	14.6%
豊中市		177,888	8,699	4.9%
合 計		1,363,014	174,340	12.8%

法人合併の目的・意義 その4 理念、運動の継承

大阪の民医連、医療福祉生協の発展

大阪民医連に加盟する医療福祉生協 10生協



- 経営悪化している生協が増えています。同時に、診療所所長や看護師長、事務幹部世代交代も求められています。
- 今回の法人合併の次は、大阪全体の医療福祉生協を視野に入れた大合併の検討も課題となります。**※赤字表記生協 オブザーバー参加・検討表明**
- 2020年7月に共愛会、此花博愛会、共和会が解散し、淀川勤労者厚生協会に法人合同しました。

法人数	1992	2000	2003	2010	2012	2013	2017	2020	2023
大阪中央医療生協	25	22	21	20	20	18	14	11	9
城東鶴見医療生協	ヘルスコープ おおさか								医療生協 法人の合併
旭医療生協									
田島医療生協									
医療生協かわち野									
大東四季福祉保険生協							医療生協 かわち野		
なにわ医療生協									
よどがわ保険生協								県連と協議中	
はくせつ医療生協								県連と協議中	
けいはん医療生協					民医連加盟				
南大阪医療生協				南大阪 医療生協					
水津川厚生協会									
大正医療生協						大阪きつがわ 医療福祉生協			
西成医療生協									
湊医療生協									
北野田医療生協									
羽曳野医療生協									
堺医療生協							大阪みなみ 医療福祉生協		
阪南医療生協									
同仁会									
福島医療生協			福島 医療生協						
福島勤労者厚生協会								県連と協議中	
淀川勤労者厚生協会									
共愛会									
共和会									
此花厚生会									
								淀川勤労者 厚生協会	

ヘルスコープの合併歴史

- ヘルスコープおおさかは、大阪中央、城東鶴見保健、旭医療、生野医療の4生協が合併し2000年4月誕生。
- うえに病院がある旧大阪中央医療生協は、累積赤字が9億を超え日本の医療生協の中でも最も経営困難の生協
- 困難を打開するために大阪民医連は、専務理事を同仁会から派遣し、法人合併に向けた検討が進められました。
- 「病院新築移転」「変わってからの合併」を合言葉に班会開催、健康チェック、1万人の大腸がん検診などを広げ、組合員、出資金ふやしが飛躍。
- 大阪民医連からの支援によってうえに病院の医師体制が充実し、全診療所の経営も改善。
- 合併後累積赤字を一気に解消し、2000年介護保険のスタートで数多くの介護事業所を開設。
- コープおおさか病院の移転新築、うえに生協診、田島歯科、グループホーム野江ゆおびかの新規開設、田島診、あかがわ生協診、のえ生協診、生協森の宮歯科の移転新築などを合併後の10年間で実現。

法人合併で切り開いてきた歴史がある

医療生協かわち野の合併歴史

- 1953年に旧うえに病院（現コープおおさか病院）から医師と事務、看護師を派遣し蛇草診療所が誕生
- 1969年に東大阪市楠根・稲田地域に、「楠根診療所」が開設
- 1971年医療法人健生会（蛇草病院）と東大阪医療生協（楠根診）との合併
- 1982年蛇草病院閉院し、旧東大阪生協病院に新築移転。
- 生協加納診療所、八尾クリニック、はなぞの生協診療所の新規開設
- この15年間にかわち野は、組合員、出資金、事業収益とも2倍以上に増加
- 2015年東大阪生協病院の新築移転
- 社会福祉法人かわち野福祉会でサービスタ付き高齢者住宅の開設、特別養護老人ホームの建設にも大きな力になった。
- 2017年に大東四條畷保健生協と合併。

大阪民医連の医師支援・派遣の歴史が両法人の今を支えている

1986年 東大阪生協病院 医師体制弱体化

- 88年 高橋医師が同仁会より派遣、他内科の医師が着任
- 91年 大井医師（同仁会）が着任
- 93年 藤田医師（現理事長・同仁会）
春本医師（同仁会）が着任
- 99年 橘田医師着任（元大阪中央医療生協、同仁会）
- 02年 西田医師着任（同仁会）
- 09年 石井医師着任（同仁会）

1989年 うえに病院の医師体制の弱体化

- 大阪民医連幹部医師のローテーション支援 約1年半後
- 90年 金谷医師が西淀病院から院長として着任
- 94年 藤本外科医師同仁会より派遣 内科医師2名
- 95年 水野医師が同仁会から着任
1名循環器の医師派遣 心臓カテーテルを開始
- 98年 西上医師（現院長）同仁会より着任
- 03年 青木医師 同仁会より着任
- 05年 向井現理事長 同仁会から派遣

大阪民医連
はひとつ

【上二病院の開設・創世期】1950年～1970年

戦後まもなく戦前の無産者診療で活躍した医師が中心になり「関西医療民主化同盟」が結成され、西淀病院の開院（1947年）さらに大阪の中心部に上二病院（1950年中央区上本町西一丁目）が開院されました。

当時の上二病院と西淀病院は、西日本の拠点病院となり耳原病院、相川病院をはじめ近畿一円、西日本各地に医師を派遣し各県に民医連の病院や診療所開院に大きな役割を發揮しました。



**法人合併の歴史を振り返り
大阪の生協運動の未来を拓く
受け継ぐべきものは
民医連、医療生協の理念
大阪の未来社会は
われわれ協同組合が拓く**



医療生協かわち野の事業圏

大東四条畷圏

- 協立診療所
- 協立診療所通所リハビリテーション
- 訪問看護ステーションかわち野サテライト
- グループホームさんの村
- 小規模多機能施設さんの社
- 医療生協ケアプランセンターさんが

はなぞの圏

- はなぞの生協診療所
- はなぞの生協診療所通所リハビリテーション
- 小規模多機能ホームはなぞの
- グループホームはなぞの
- ケアプランセンターはなぞの

八尾柏原圏

- 医療生協八尾クリニック
- 医療生協八尾クリニック通所リハビリテーション
- ショートスティよおざ
- グループホームよおざ
- 医療生協八尾ケアプランセンター

楠根圏

- 楠根診療所
- 楠根診療所通所リハビリテーション
- ショートスティくすね
- グループホームくすね
- ケアプランセンター健
- 訪問看護ステーションさつき

加納圏

- 生協加納診療所
- 生協加納診療所通所リハビリテーション
- グループホームかわち野
- デイサービスセンター加納
- 生協加納ケアプランセンター

病院圏

- 東大阪生協病院
- 東大阪生協病院通所リハビリテーション
- ケアプランセンターかわち野和
- 訪問看護ステーションかわち野
- デイサービスセンター上小坂



特別養護老人ホーム
かわち野里ながせ



配食サービス



社会福祉法人
かわち野福祉会



①

- 特別養護老人ホーム かわち野里 ながせ
- 特別養護老人ホーム かわち野里ながせショートスティ
- 配食サービスにじの会(長瀬センター)

②

- ケアハウスかわち野里
- デイサービスセンターかわち野
- かわち野里ケアプランセンター
- 配食サービスにじの会(横小路センター)
- ヘルパーステーションかわち野

③

- サービス付高齢者住宅 かわち野里加納
- デイサービスセンターかんの
- 配食サービスにじの会(加納センター)
- ヘルパーステーションかわち野 加納



④

- ヘルパーステーション かわち野 花園

⑤

- ヘルパーステーション かわち野 大東

⑥

- ヘルパーステーション かわち野 八尾

生活協同組合ヘルスコープおおさかの地区

③病院地区

- コープおおさか病院
- コープおおさか病院通所リハビリテーション
- コープおおさか病院ケアプランセンター
- コープおおさかデイサービス
- ヘルスコープおおさか訪問看護ステーション
- コープおおさか病院歯科



②のえ診地区

- のえ生協診療所
- のえ生協診療所通所リハビリテーション
- グループホーム野江ゆおびか
- デイサービス野江ゆおびか（認知症デイ）



②蒲生診地区

- 蒲生厚生診療所
- 蒲生厚生診療所通所リハビリテーション
- コープケアプランセンター
- なでしこヘルパーステーション
- ヘルスコープ訪問看護ステーション
- せいさう三丁目歯科



②城東診地区

- 城東診療所
- なかはまヘルパーステーション



④うえに診地区

- うえに生協診療所
- うえに生協診療所通所リハビリテーション
- うえに生協診療所ケアプランセンター
- うえに生協診療所ヘルパーステーション
- うえに生協診療所デイサービス
- ヘルスコープおおさか訪問看護ステーションうえにサテライト



⑥田島診地区

- 田島診療所
- 田島診療所通所リハビリテーション
- 田島ケアプランセンター
- 田島ヘルパーセンター
- 田島デイサービスセンター
- 田島診療所歯科



①あかがわ診地区

- あかがわ生協診療所
- あかがわ生協診療所デイサービスげんき
- あかしんケアプランセンター
- 赤川ヘルパーステーション
- 小規模多機能居宅介護花しょうぶ
- グループホーム花しょうぶ

③またた診地区

- またた生協診療所
- またた生協診療所通所リハビリテーション
- またた生協診療所居宅
- すずらんヘルパーステーション



③今津診地区

- 今津生協診療所
- 今津生協診療所通所リハビリテーション
- グループホーム改出ゆおびか



⑤いまざと診地区

- いまざと診療所
- いまざとデイサービス
- いまざとケアプランセンター
- いまざとヘルパーステーション
- グループホームゆおびか
- 生協森の宮歯科



なにわ保健生活協同組合の事業所

コープ都島クリニック



〒534-0021

大阪市都島区都島本通3-17-10

通所リハビリテーション
トレーニングルーム

コープ淀川クリニック



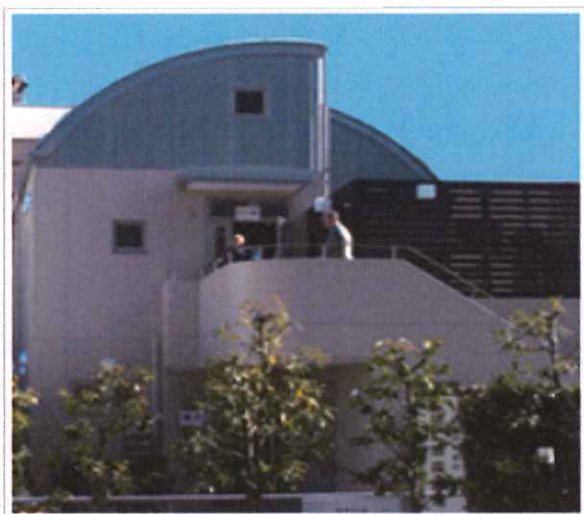
〒534-0001

大阪市都島区毛馬町4-4-6

通所リハビリテーション
淀川ケアプランセンター

グループホーム

びろうじゅ 高倉



びろうじゅ おおよど



事業所名 桜の宮訪問看護ステーション
(訪問看護・通所リハビリ)

[→詳しくはこちら](#)

TEL 06-6923-3641

住所 〒534-0011 大阪市都島区高倉町1-5-7(コープなにわ介護センター内)

事業所名 コープらくらくセンター
(訪問介護)

[→詳しくはこちら](#)

TEL 06-6292-7500

住所 〒536-0016 大阪市北区中崎1-6-20 コープいきいきセンター2階

事業所名 ホームヘルプステーション フレンズ
(訪問介護・ケアプラン・福祉用具貸与)

[→詳しくはこちら](#)

事業所名 コープあみいーゆ
(訪問介護)

[→詳しくはこちら](#)

TEL 06-6954-2252

住所 〒535-0013 大阪市旭区森小路1-13-13



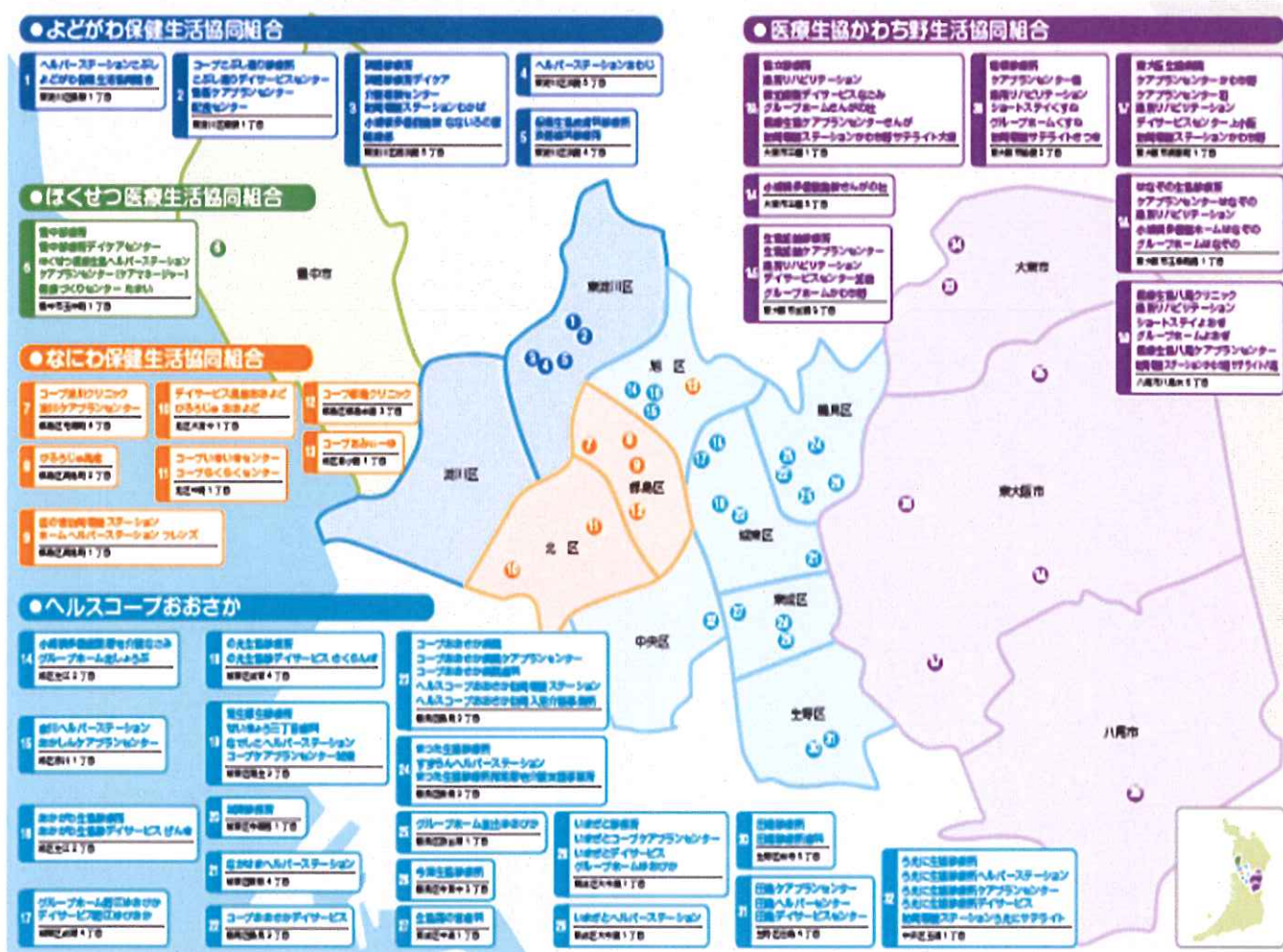
ほくせつ医療生活協同組合

〒560-0026 豊中市玉井町 1-10-6

<https://hokusetsu-mcoop.jp>

- 1F/ 豊中診療所
- 2F/ デイケアセンター
- 3F/ 医療生協事務局・組合員ルーム
- 4F/ ケアプランセンター
- ヘルパーステーション





合併で誕生する「新しい医療福祉生協」の概要について

職員数				生協名	かわち野	ヘルス	なにわ	よどがわ	ほくせつ	合 計
20年3月末	職員数	常勤	非常勤	組合員数	76,176	70,574	14,270	22,288	8,051	191,359
	ヘルス	738	458	280	出資金(百万)	1,753	1,641	263	304	4,111
	かわち野	627	337	301	支部数	63	54	9	15	152
	なにわ	127	63	61	班数	690	221	15	91	1,169
	よどがわ	110	27	83	たまり場	29	11		5	45
	ほくせつ	43	14	29	事業収益(百万)	5,418	6,818	812	790	14,077
	合 計	1645	899	751						
事業収益										
【事業収益】		14,077,973		病院	1	1				2
入居収益		3,470,600		診療所	5	9	2	3	1	20
外来収益		4,699,727		歯科	—	4		1		5
(うち在宅収益)		668,585		通所リハビリ	6	6	2	1	1	16
健診収益		1,438,454		通所介護	—	5		1	1	7
その他の事業収益		273,015		認知症デイ	2	1	1			4
【医療収益】		9,825,969		訪問看護	1	1	1	1		4
訪問サービス収益		974,231		訪問介護	—	7	3	2		12
通所・居宅サービス収益		2,527,706		ケアプラン	7	7	3	2	1	20
その他介護収益		698,140		グループホーム	5	4	2			11
【福祉事業収益】		4,181,794		ショートステイ	2	—				2
				配食センター				1		1
				小規模多機能	2	1		1		4
				福祉用具	—	1	1			2
				合計	31	47	15	13	4	110